# 熊谷市
# スマートクールシティ

## 「今年のワークショップの位置づけと発展のさせ方」

TSUKURU.LLC

三宅　創太

新しいビジネスモデルをともにツクル

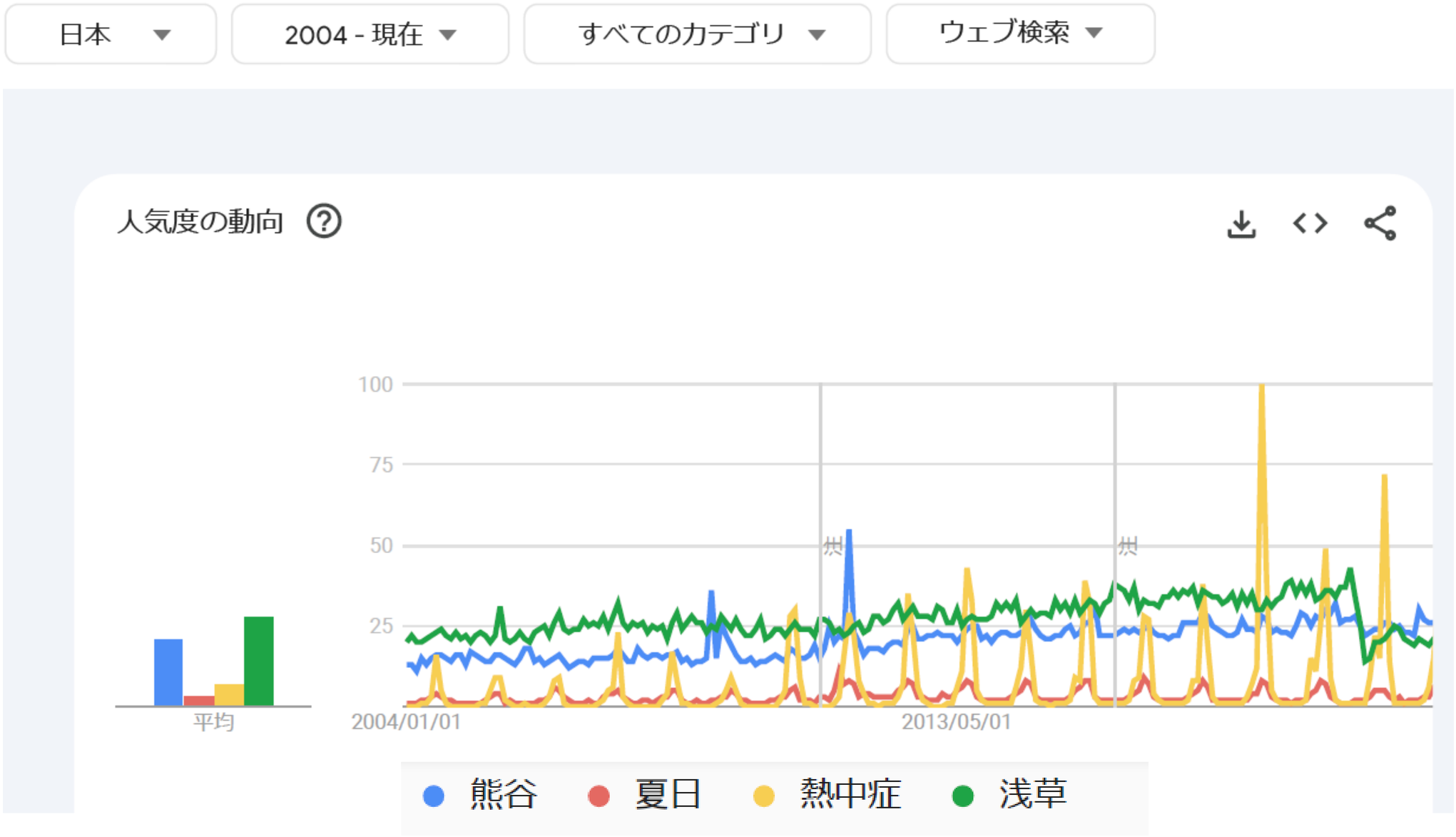


# 熊谷 …… 暑い街



41℃予想の熊谷
YouTube
危険な暑さ】予想気温41℃の熊谷…様…
日本一暑い」熊谷市が進める「…
猛暑：気象庁「災…
熊谷：猛暑記録し…
日テレNEWS NNN - 日本テレビ
熊谷市で最高気温40.0℃ 現地から中継…
熊谷経済新聞 - みんなの経済新聞ネッ…
熊谷のインスタスポット「大温度…
天気予報
猛暑日続出 熊谷で41℃予想 …
YouTube
速報】危険な暑さ、気温上昇
日刊スポーツ
熊谷市41・1度 18…
日テレNEWS NNN - 日本テレビ
猛暑の街・熊谷に1か月遅れの「大温度…
埼玉県熊谷市で気…
エキサイト
最高気温 埼玉県熊谷市39.2℃ 1週…
熊谷：猛暑記録し…
news23
ハンズフリー「日傘」も
暑い場所避け目的地へ
TBS NEWS DIG - TBSテレビ
日本一暑い街"埼玉・熊谷では猛暑対策ア…
日本経済新聞
埼玉・熊谷恒例の…
高知新聞
暑さ日本一」町おこしに 江川崎抜き…
予想最高気温
熊谷
41度
甲府
39度
東京都心
36度

# 参考：Googleトレンド分析 「熊谷市」と「夏日」・「熱中症」の相関性は見られる



# 「暑い」と聞いて思い浮かべる都道府県のトップは？　立秋とはいえ暑すぎ、大気不安定で100ミリ以上の雷雨も

2024年8月7日 21時11分　有料会員限定記事

0

旅行情報誌「じゃらん」が行った「暑い都道府県イメージランキング」のアンケートで、埼玉県が1位となった。常夏のイメージが強い沖縄県は2位だった。

## ◆国内最高気温マークの知名度が影響か

アンケートは47都道府県の20～50代を対象に、5月にインターネットで実施。「『日本で一番暑い』と聞いてイメージする都道府県」を三つまで回答する方式で、1063人が答えた。

回答によると、埼玉県を挙げた理由として「熊谷があるから」「最高気温が出たことがある」「ニュースでよく見る」などの声が寄せられた。国内最高気温の41.1度の記録を持ち、「日本一暑い街」で知られる熊谷市の知名度が大きく影響したようで、「実際に住んでいるが暑すぎる」といった声もあった。

3位は群馬県、4位は岐阜県、5位は京都府。東京都は6位、栃木県は8位だった。ランキングはじゃらんを発行するリクルートが発表した。（藤原哲也）

◇




https://www.tokyo-np.co.jp/article/345929

# 1.熊谷市 スマートシティ実装プロジェクト

## 立正大学との共同研究「気象観測機器の開発及び気象データの収集・分析」
## 企業・市民・メディア参画による事業推進支援の「必要性」

事業背景

①都市を冷やす対策をスマート“クール”シティとして実装することは、地元の企業や市民の協力が不可欠である

②日本一暑い街として、知名度のある熊谷市はメディアに多く取り上げられるが、多くは「暑さ」を表現するための映像・コメントが放映されている

③地球温暖化によって、多くの都市が「暑さ対策」が必要になっている

④熊谷市が地元の大学・企業・市民と協力して「暑さ対策」に挑戦し、実際に効果がある対策を考え、
挑戦し、検証し、実装することができれば地域共創型のスマートシティの実例となる



⑤その成長プロセスをメディアに提供することで熊谷市のクールシティ対策は、各地のモデルとなりえる

⑥その事業を大学発スタートアップ企業が実現することで、新たな産業創出や産業DXの実現につながる

⑦それらの結果、熊谷市スマート“クール”シティは、産業の活性化・定住人口増の実現が考えられる

# 年間スケジュール案（令和6年度）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10,11,12月 | 1,2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業企画・全体構成 | ☑ | | | | | | | | |
| 説明会実施（参加者募集） | | ☑ | | | | | | | |
| 第１回ワークショップ（暑さ対策のアイデア） | | | ☑ | | | | | | |
| 第２回ワークショップ（計測方法のアイデア）<br>※機材検証含む | | | ☑ | | | | | | |
| 第3回ワークショップ<br>フィールドワーク（測定） | | | | ☑ | | | | | |
| 第4回ワークショップ（計測結果のまとめ） | | | | | ☑ | | | | |
| 中間報告結果 | | | | | | ☑ | ☑ | ☑ | |
| 報告会 | | | | | | | | | ☐ |

# 熊谷市を
# Coolに変えろ！

# 未来のまちづくり
# スマートクールシティ
# ワークショップ

## スマートシティ デジタルデザイン企画とは

市民・大学・産業関係者・起業家が集まり、
アイディアや発想を重視しつつ、データを活用した実用的な仕組みをつくる、熊谷スマートシティのプロジェクトです。

## 熊谷スマートシティ デジタルデザイン企画
## 第１弾

立正大学との共同研究を市民・大学・産業関係者・起業家と連携して行います。熊谷の「暑さ（気象）」に関するデータを活用し、未来のまちづくりや創業へつなげます。

# チラシ


熊谷市をCoolに変えろ！
未来のまちづくり
スマートクールシティ
ワークショップ
熊谷スマートシティ デジタルデザイン企画 第1弾
立正大学との共同研究を市民・大学・産業関係者・起業家と
連携して行います。熊谷の「暑さ（気象）」に関するデータを活用し、
未来のまちづくりや創業へつなげます。
説明会
開催場所：さいしん熊谷本町ビル 会議室
（本町1-130-1）
2024年
5月25日(土)
受付13:00-
13:30 - 15:30
対象
18歳以上
参加費
0円
申込不要
定員60名
スマートシティ デジタルデザイン企画とは
市民・大学・産業関係者・起業家が集まり、アイディアや発想を重視しつつ、データを
活用した実用的な仕組みをつくる、熊谷スマートシティのプロジェクトです。
お問い合わせ
熊谷市役所政策調査課
048-524-1111（内線368）


ファシリテーター
立正大学 データサイエンス学部 教授
白木洋平
立正大学データサイエンス学部教授。リモートセンシング、都市環境、地理情報
システム等の専門家で、人工衛星画像を使用し、都市環境やヒートアイランド現
象の解析等を行う。また、リモートセンシングとビッグデータを組み合わせた熱
ストレス分析や都市計画への応用にも取り組む。
合同会社ツクル 代表
三宅創太
幅広い分野で事業創造を行い、現在は民間の月面探査プロジェクト「YAOKI」に
関わり、「宇宙事業」から「地球事業」まで幅広く対応。地球事業では「街づく
り」「観光」「農業」「医療福祉」「産学連携」「商工連携」を網羅する企画を
立案・提言し実践している。
株式会社キョーリク 代表取締役
原田勲
3歳から18歳の子供たちの個性を尊重した学習塾を運営。夢や目標に合わせた教
育を提供し、「本当の自分を創る」をミッションに掲げる。2022年にコワーキ
ングスペースも開設し、ビジネス成長を支援。経営学に基づくメンタリングで
個々の成長をサポートしている。
ワークショップ日程
第1回ワークショップ
6.15 Sat.
13:30～ 15:30
商工会館 3－3会議室（宮町2-39）
第2回ワークショップ
6.29 Sat.
13:30～ 15:30
商工会館 大ホール（宮町2-39）
第3回ワークショップ
7.27 Sat.
13:30～ 15:30
ハートピア会議室
（筑波3-202ティアラ21・4階）
第4回ワークショップ
8.31 Sat.
13:30～ 15:30
ハートピア会議室
（筑波3-202ティアラ21・4階）
中間報告会
9.28 Sat.
13:30～ 15:30
さいしん熊谷本町ビル
会議室（本町1-130-1）
最終報告会
3.22 Sat.
13:30～ 15:30
調整中
※説明会終了後、ワークショップへの申込受付。定員25名、全回出席できる方を優先。
ワークショップの流れ
第1・2回のワークショップでは、データの計測、活用の意義を
学び、スマートクールシティのアイディアの検討やフィールド
ワークの準備を行います。
第3回のワークショップでは、フィールドワークとして、観測機
器を用いて実際の気温や湿度の情報を取得し、観測する地点に
よって値が異なることを体感します。
第4回のワークショップでは、フィールドワークを踏まえ、スマ
ートクールシティのアイディアを深化させ、中間報告会に向け
た準備をします。
中間報告会では、熊谷スマートシティの関係者に向け、これま
でのワークショップの取組内容を報告します。その後、最終報
告会に向け深めていきます。産学官連携まちづくりフォーラム
で最終報告を予定しています。
参加者にはコミュニティポイント「クマポ」を進呈！
クマポは、熊谷スマートシティの取組の一環で、ボランティアや地域活動等の「まちを元気にする」
活動の参加者にお渡しするポイントです。

# HP

https://www.kumagaya-smartcoolcity.jp/










【7/27】気象観測クールアクション　詳細はこちら

スマートクールシティの取組紹介チラシ ダウンロード

熊谷市の取り組み取材を閲覧する（ジモトトピックス）

# ファシリテーター



合同会社ツクル
代表社員

## 三宅　創太

様々な分野に係っている。街づくり・観光・農業・医療福祉・産学連携・商工連携を網羅する企画提案と提言を実践している。



立正大学
データサイエンス学部　教授

## 白木　洋平

リモートセンシング、都市環境、地理情報システム等の専門家で、人工衛星画像を使用し、都市環境やヒートアイランド現象の解析等を行う。



株式会社キョーリク
代表取締役

## 原田　勲

学習塾の運営、コーワキングスペースの開設しビジネス支援もしている。経営学に基づくメンタリングでサポートを続けている。

# 説明会

| | |
|---|---|
| 開催日 | 2024年5月25日（土曜日） |
| 時間 | 13:30 ～ 15:30 |
| 場所 | さいしん熊谷本町ビル　会議室<br>〒360-0042<br>熊谷市本町1丁目130番地1 |
| 申込先 | 熊谷市役所政策調査課 |



# 説明会　実施内容

| | |
|---|---|
| 内　容 | ワークショップ開催主旨説明・ファシリテーター紹介等 |
| 詳　細 | 現在熊谷市が進めているスマートシティ構想を伝えたうえで、「暑さに関する」データを活用し、未来のまちづくりや創業につなげる「熊谷スマートシティデジタルデザイン企画」について紹介。<br><br>このプロジェクトが立正大学との共同研究をベースにして、市民・大学・産業関係者・起業家と連携して、熊谷市民が住みやすくなるための仕組みとして、「熊谷市をCoolに変えろ！」をテーマにした、アイデアや観測機材活用ワークショップと実際に市内各所で計測するフィールドワークによって構成される予定を説明。<br><br>第１弾として、今年度は熊谷市の特徴でもある暑さ（気温・湿度）に関するデータを市民参加で観測し、涼しさを感じられる取組の効果なども含めた観測結果の分析や、観測機器やノウハウをパッケージ化し創業へつなげる検討を行う予定。 |

# アンケート結果

## 説明会　参加者

| 1 説明会について | 説明会での気づきや学び | 今後やってみたいこと | 熊谷市スマートシティに今後期待すること | 感想ほか |
|---|---|---|---|---|
| 良かった | 暑さ対策について市がいろいろと考えているのは知っていたが、このようなワークショップを開催しようとしているのは初めて知った。すべてを理解したわけではないが、大学発企業など面白そうだと思った。 | 熊谷市内の各所で気温、湿度などを細かく計測し、データ化して6月から9月の不快な期間を市民が少しでも快適に過ごせるようになれればいいと思う。世界レベルで温暖化は進むだろうから、先手？を打てる。できたら、そのノウハウをソフト化し商品化できれば。 | すぐにクールシティになるのは難しいと思うが、いろいろなことに挑戦してほしい。 | 市が行っていること、計画していることを、もっとわかりやすく伝えてほしい。<br>また、もっと多くの市民を巻き込んでほしい。 |

| 2 説明会について | 説明会での気づきや学び | 今後やってみたいこと | 熊谷市スマートシティに今後期待すること | 感想ほか |
|---|---|---|---|---|
| 良かった | アイデア出しは、訓練が必要。どうしても説明に聞き入ってしまって付箋作業がおろそかになった。 | いかに熊谷市を冷ますか。<br>効率よく、安価に、継続的に。人が外で活動できるようにするか。冷まし方の実験をするには、星川は最適。ブロックごとに方法を変えて。舗装、散水、ミスト、木かげ、建物の影。日陰と散水、蒸散が重要。風の通り道をつくる。水はどこから、星川の水を散水に使えないか。雨水を貯めるタンクの設置を義務化。散水は、適度に乾く程度に、軽い上昇気流が発生しないと風が吹かない。 | 熊谷市は、人の移動が多すぎる。ちょっと住んですぐいなくなる。定着しない。そんなにつまらない街ではないと思うのだが。住みやすいとは居心地が良いことで、楽しい、楽しくないだけで評価されないものと考える。日常に空気のような当たり前の居心地良さのある街を目指したい。 | 市の職員は、プライベート参加した場合、自らの立ち位置が不安定に感じた。<br>他の参加者が、職員相手だと本音を話せない人がいることを考えると発言しづらい。 |

ワークショップ
風景

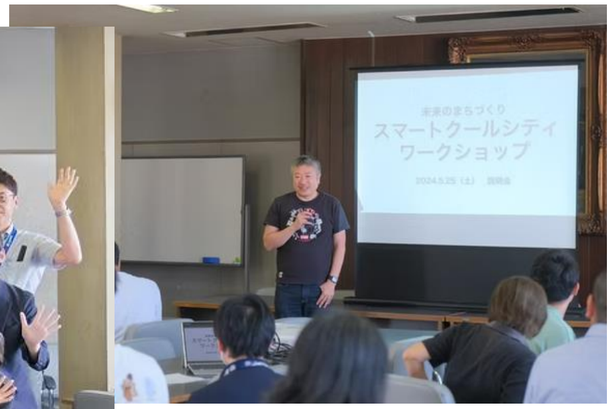
# 第1回ワークショップ

2024年6月15日
13:30～15:30

## 「熊谷市の取組・気象観測についてのインプットとアイデア検討」
















# 第1回ワークショップ

2024年6月15日
13:30〜15:30

## 「熊谷市の取組・気象観測についてのインプットとアイデア検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 開会挨拶 | 大島副市長の挨拶で始まり、スマートクールシティワークショップの重要性と、参加者の発想とデジタル技術を掛け合わせ、新しい産業を生み出すことへの期待を述べた。 |
| 2 | ファシリテーターの紹介 | 3名のファシリテーターの紹介 |
| 3 | 参加者紹介 | 立正大学の学生、気象庁の元職員、信用金庫職員、主婦、紙芝居制作者、ペットフード開発者、小学校の元教員、会社員など地元の方々を始め、多様なバックグラウンドを持つ22名の参加者の紹介。 |

# 第1回ワークショップ

2024年6月15日
13:30〜15:30

## 「熊谷市の取組・気象観測についてのインプットとアイデア検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 4 | ワークショップ開始 | 参加者は「スマートかつクールに！」をテーマに、涼しくなるアイデアを考え、ディスカッションを行った。<br>具体的な測定は、晴天なら第３回目のワークショップ(７月)に、雨天なら8月に気象観測を実施する予定を発表。 |
| 5 | インプットセッション | 取組・事例紹介: 熊谷スマートシティの取組、DXアイデア・事業創造の流れ、カーボンニュートラル、省エネルギー設備、各種補助金など、熊谷市の取組や成果などが共有され、熊谷市が行っているデータ活用によるまちづくりの事例を紹介。 |
| 6 | ワークショップ各班のアイデアまとめ | 複数の班に分かれてディスカッションを行い、アイデアや感想を発表。<br>1班：市役所の取組の可視化と伝達の重要性<br>2班：エアコンの排熱活用、3班：データに基づく暑さ対策<br>4班：星川エリアの活性化、5班：街のブランディングとエコな交通手段 |

# 第1回ワークショップ

2024年6月15日
13:30〜15:30

## 「熊谷市の取組・気象観測についてのインプットとアイデア検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 7 | 参加者からのフィードバック | 「熊谷が暑い理由、ヒートアイランド現象、フェーン現象が原因しているのは勉強になった」「市街地にもっと日陰として緑を増やしていったらいい」「すでに熊谷市ではスマートクールシティに向け沢山の政策をやっていると思うとともに、なぜ大きく広く宣伝しないのか疑問に思った」「室外機から出るCO2を有効利用し、より過ごしやすいまちになれたらいい」「コミュニティの発信が重要」「エアコンの排熱活用など具体的なアイデアが出てよかった」「暑さを悪ではなく善として、暑くても過ごしやすいまちづくりをしてほしい」などのポジティブなフィードバックが寄せられました。 |
| 8 | 参加者の反応 | 熊谷市の未来のまちづくりに向けた重要な第一歩となった第1回目。多様な意見やアイデアが集まりました。数々アイデアが市民や関係者の皆様と取り組んでこそ、より効果的な解決策となることを期待し、次回のワークショップではアイデアをさらに具体化していく。 |

ワークショップ
風景

# 第2回ワークショップ

2024年6月29日
13:30〜15:30

「気象観測やカキコまっぷ（電子地図）のインプット、
班ごとに観測地点とクールアイデア検討」



















# 第2回ワークショップ

2024年6月29日
13:30〜15:30

## 「気象観測やカキコまっぷ（電子地図）のインプット、班ごとに観測地点とクールアイデア検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 開会挨拶 | 大島副市長の挨拶で始まり、スマートクールシティワークショップの重要性と、市民と参加者の皆様と職員が、新しい観測の仕方を検討したり、きちんと政策議論する場のモデルとしても期待している旨を述べた。 |
| 2 | 前回の振り返り | 第1回ワークショップで各班が出したアイディアとそれに対するフィードバックについて、振り返りを行い、前回出したアイディアに囚われることなく、仮説を立てて気象観測場所を決定したり、次回実施するクールアクションのアイデアを検討してほしいと説明。 |

# 第2回ワークショップ

2024年6月29日
13:30～15:30

## 「気象観測やカキコまっぷ（電子地図）のインプット、班ごとに観測地点とクールアイデア検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 3 | インプット<br>セッション | 白木ファシリテーターから、データロガー温度計「おんどとり」の説明や、器差補正とその方法、正確な観測のための日射シェルターの必要性、自然通風シェルターと強制通風シェルターの違い、機器による金額の違い、観測地点を考える際のポイントなどを説明。<br>観測当日に使用する観測機器の試作品も紹介。参加者は観測機器を手に取って構造を見たり、重さを確認した。<br>ほかに、三宅氏からは「周りを巻き込んで楽しく涼しく」、<br>大島副市長からは「市の役割について」説明を行った。 |
| 4 | ディスカッション<br>アウトプット | 参加者は各班に分かれてディスカッションを行い、10か所の気象観測地点を決めたり、クールアイデアを検討。 |

# 第2回ワークショップ

2024年6月29日
13:30〜15:30

## 「気象観測やカキコまっぷ（電子地図）のインプット、班ごとに観測地点とクールアイデア検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 5 | インプット<br>セッション | カキコまっぷについて：政策調査課から、観測地点の気温等の記録する電子地図「カキコまっぷ」の概要と操作方法、登録方法などの説明を行った。 |
| 6 | **観測地点の登録** | 班ごとに熊谷市の学校で生徒が使用しているタブレットを使い、決定した観測地点をカキコまっぷ登録。当日の観測をスムーズに行うため。<br>電子地図上で情報を他の班とも共有し、全ての班の観測地点がエリアのどこにあるのかと把握し、他の班とのエリアの境界上に観測地点があった際の参考になり、別の班と同じ地点にならない工夫が出来た。 |

# 第2回ワークショップ

2024年6月29日
13:30～15:30

## 「気象観測やカキコまっぷ（電子地図）のインプット、班ごとに観測地点とクールアイデア検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 7 | アウトプット | クールアイデアの発表：各班で検討したクールアイデアを発表。<br>各班ごとに多種多様な発表となりました。 |
| 8 | 総括 | 各班で観測地点10か所を決め、カキコまっぷへ観測地点をの登録、まちを涼しくするクールアイデアを検討。<br>第3回のフィールドワークでの観測に向けて、10か所の観測地点の微修正や、観測地点のみんなで楽しくまちを涼しくするためのクールアクションのための機材や周りへの声掛けなど準備した。 |

# 第3回ワークショップ

2024年7月27日
13:30～15:30

「気象観測フィールドワーク
市内50か所の気象観測とクールアクションの効果測定」







# 第3回ワークショップ

2024年7月27日
13:30～15:30

「気象観測フィールドワーク
市内50か所の気象観測とクールアクションの効果測定」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 開会挨拶 | 大島副市長から、健康と安全を第一に取り組んでくださいとの参加者への激励がありました。 |
| 2 | 気象観測のルール説明、役割分担及びルートの確認 | 観測地点での待機時間（観測機器の応答性の確保のため2分待機する）や測定方法、安全確保についての説明が行われました。また、班内での役割分担や観測ルートの確認を行った。 |

# 第3回ワークショップ

2024年7月27日
13:30〜15:30

「気象観測フィールドワーク
市内50か所の気象観測とクールアクションの効果測定」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 3 | クールアクションと気象観測フィールドワーク<br><br>〈A班の取組み〉 | A班: 星川広場を人工芝でクールに変身大作戦<br>テーマ・キーワード：「人工芝 × 水 × 日陰 × まちなか」<br><br>【方法】<br>星川広場に人工芝を敷設し、<br>打ち水前後や、日陰のありなし等、<br>いろいろな条件で気温を測定。 |



# 第3回ワークショップ

2024年7月27日
13:30〜15:30

「気象観測フィールドワーク
市内50か所の気象観測とクールアクションの効果測定」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 3 | クールアクションと気象観測フィールドワーク<br><br>〈B班の取組み〉 | B班: 雪国の「消雪パイプ」でクール大作戦<br>テーマ・キーワード: 「 水 × 散水ホース × まちなか」<br><br>【方法】<br>20メートルの散水ホースでミストを噴霧し、噴霧する前後で気温を測定。 |



# 第3回ワークショップ

2024年7月27日
13:30～15:30

「気象観測フィールドワーク
市内50か所の気象観測とクールアクションの効果測定」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 3 | クールアクションと気象観測フィールドワーク<br><br>〈C班の取組み〉 | C班: 打ち水の工夫とコミュニティの力で街をクールに<br>テーマ・キーワード:<br>「打ち水のコツ、日中・日なたは２度まき？！」<br><br>【方法】<br>パン屋さんのご協力をいただき、<br>日陰地点と日向地点で打ち水を２回ずつ<br>実施。その効果を検証。 |



# 第3回ワークショップ

2024年7月27日
13:30〜15:30

「気象観測フィールドワーク
市内50か所の気象観測とクールアクションの効果測定」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 3 | クールアクションと気象観測フィールドワーク<br><br>〈D班の取組み〉 | D班: ねこがのびのびクールシティ作戦<br>テーマ・キーワード: 「ペットにも住みよいまち熊谷」<br><br>【方法】<br>ペット用の箱を用意し、<br>何もしない箱と、<br>氷を置いた箱で気温を比較。 |



# 第3回ワークショップ

2024年7月27日
13:30～15:30

「気象観測フィールドワーク
市内50か所の気象観測とクールアクションの効果測定」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 3 | クールアクションと気象観測フィールドワーク<br><br>〈E班の取組み〉 | E班: 遊んで冷やせ！～夏の水風船バッティング～<br>テーマ・キーワード:<br>野球教室（ブラックアローズＪｒ） × 水風船 1,000 個割る<br><br>【方法】<br>水風船をはじめとした<br>水遊びの前後で気温を測定。 |



# 第4回ワークショップ

2024年8月31日
13:30～15:30

「気象観測とクールアイデア実行の振り返り、
市の施策との連携可能性のインプットと中間報告へ向けての検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 開会挨拶 | 大島副市長が「対面でこそできることもある一方、移動のご負担や台風等で集まれないこともあるため、スマートシティの一環としてデジタル上でのやり取りを活発にし、市民の皆さんとのやり取りを政策に反映させたいという思いから、Slack上での意見交換の場を進めている。熊谷市も市民の声をもっとダイレクトに聞き取り、できるだけ早くお返ししたいという思いで取り組んでいるので、試していただけると大変ありがたい」と述べた。 |

# 第4回ワークショップ

2024年8月31日
13:30～15:30

「気象観測とクールアイデア実行の振り返り、
市の施策との連携可能性のインプットと中間報告へ向けての検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| 2 | インプット<br>セッション | 第3回ワークショップで実施したフィールドワークの「ダイジェスト動画の視聴」、「各班が実施した方法と結果、それに対するファシリテーターのコメントの振り返り」、「50か所の気象観測結果の速報とそこから読み取れることについて」「市の施策との連携事例」のインプットを行った。 |

「ダイジェスト動画の視聴」
https://www.youtube.com/watchv=nlv_78PTm4k&t=3s



# 第4回ワークショップ

2024年8月31日
13:30～15:30

## 「気象観測とクールアイデア実行の振り返り、市の施策との連携可能性のインプットと中間報告へ向けての検討」

### 「市の施策との連携事例：観測データを他のサービスで読み込む」

政策調査課が観測データを他のサービスで読み込む例として、「カキコまっぷ」に登録したデータを地理情報システムサービス「Re:Earth」に重ねた場合の、登録された情報や地図上の見え方について説明した。

データの可視化を簡単、直感的に行えるビジネスインテリジェンスツールである「Tableau」により、観測結果を分析した場合、観測した温度が時間の経過により変化する様子が可視化できるという説明した。

観測データを他のサービスで使用する横展開や施策の可能性が示された。

# 第4回ワークショップ

2024年8月31日
13:30～15:30

「気象観測とクールアイデア実行の振り返り、
市の施策との連携可能性のインプットと中間報告へ向けての検討」

| プログラム | タイトル | 内容 |
|---|---|---|
| | ディスカッション<br>アウトプット | 班ごとに、中間報告会へ向けてどのようにまとめていくかディスカッションを行い、大まかな方向性を発表した。 |







# 中間報告会

2024年9月28日
13:30～15:30

ワークショップ参加者のほか、市民、産業関係者、
熊谷地方気象台、学校関係者、学生など１６名の方が傍聴に訪れました。



# 中間報告会

2024年9月28日
13:30～15:30

| プログラム | タイトル | 内容 |
| --- | --- | --- |
| | 各班の発表<br>A班 | 「～これなら鬼も生きられる？！～星川沿いのクール隠れ家計画」<br>課題・仮説：夏場は星川エリアで街歩きをする人が少ない。アスファルトやタイル敷きの強烈な照り返しを防いだり、日陰により涼しく快適な街歩きが実現できるのではないか。<br>クールアクション：「星川広場を人工芝でクールに変身大作戦」 |
| | 各班の発表<br>B班 | 「雪国の「消雪パイプ」でクール大作戦」<br>課題・仮説：星川周辺は舗装されており車通りも多いが、雪国の消雪パイプをヒントに、水で地面を冷やすことで周囲の気温が涼しくなるのではないか。<br>クールアクション：「雪国の「消雪パイプ」でクール大作戦」 |
| | 各班の発表<br>C班 | 「クールアクション“打ち水小作戦”」<br>課題・仮説：個人やコミュニティで実行できる方法として打ち水があるが、１回だけでなく２回行うことでさらに効果が出るのではないか。<br>クールアクション：「打ち水の工夫とコミュニティの力で街をクールに」 |

# 中間報告会

2024年9月28日
13:30～15:30

| プログラム | タイトル | 内容 |
| --- | --- | --- |
| | 各班の発表<br>D班 | 「自然の涼しさを活用！ペットにも優しい休憩スペース」<br>課題・仮説：人も暑い夏は、地面に近い場所で生きるペットにも過酷。気化熱で温度を下げられるのではないか。<br>クールアクション：「ねこがのびのびクールシティ作戦！」 |
| | 各班の発表<br>E班 | 「日本一暑い熊谷で夏を満喫しよう！～安心して子どもが屋外で遊べるまちへ」～<br>課題・仮説：夏は暑いが、暑いからこそ外で楽しく遊べる機会が必要ではないか。<br>楽しく遊び、同時に気温を下げられるのではないか。<br>クールアクション：「遊んで冷やせ！！～夏の水風船バッティング～」 |


A班



B班


C班



D班



E班

# 中間報告会

2024年9月28日
13:30～15:30

| プログラム | タイトル | 内容 |
| --- | --- | --- |
| | 講評<br><br>原田<br>ファシリテーター | 各班へのコメント<br>　資料の一次提出の後ファシリテーターからのコメントを受け、短時間で変更するのは苦労があったと思うが、各班とも格段によくなっていた。シンプルに、わかりやすく伝えることに意識を置いた資料になっておりとても分かりやすかった。また、各班で趣向を凝らし、聞いている人が面白くわくわくするようなプレゼンだった。実際のプレゼンを通じて経験や得るものがあったのではないかと思う。<br>A班：人の少なさと暑さに相関関係を見た点が面白い。事業化計画もきちんとしており実現性が高いのではないか。<br>B班：資料中の地図表現がわかりやすかった。「効果が出なかった」＝「これをやると失敗する」ということがわかったので、成功確率が高まることにつながる。<br>C班：地元愛や関係者への配慮を感じた。打ち水の歴史的背景もよく調べ、わかりやすくユニークな資料だった。<br>D班：モックアップ（模型）まで制作したところに熱量を感じた。シンプルさはコストダウンにもつながる。ロードマップの実行性が高い。<br>E班：暑さを楽しむという逆転の発想が面白い。ステークホルダーのとらえ方もよく、見やすくわかりやすかった。 |



# 中間報告会

2024年9月28日
13:30～15:30

傍聴された方のコメント
「市民の方と市の職員の方とかがフラットに地域の課題について、こうした方がいいんじゃないかっていうのをフラットに話し合ってるっていうそれ自体が素敵」

「各班が参加者の方々の熱意が感じられた。クールアクション前後の気温変化等のデータがわかりやすくまとめられていた。」

「考えたアイデアが具体的に形になりつつある様子が印象的でした。」

「それぞれのグループが取り組みは勿論ですが発表の手法も趣向を凝らしており、非常に興味深いものでした」

「自分では考えつかないようなアイディアとかがあってとても面白いと思いました。今環境問題とかＳＤＧｓに関して興味があるのでとても勉強になりました。」

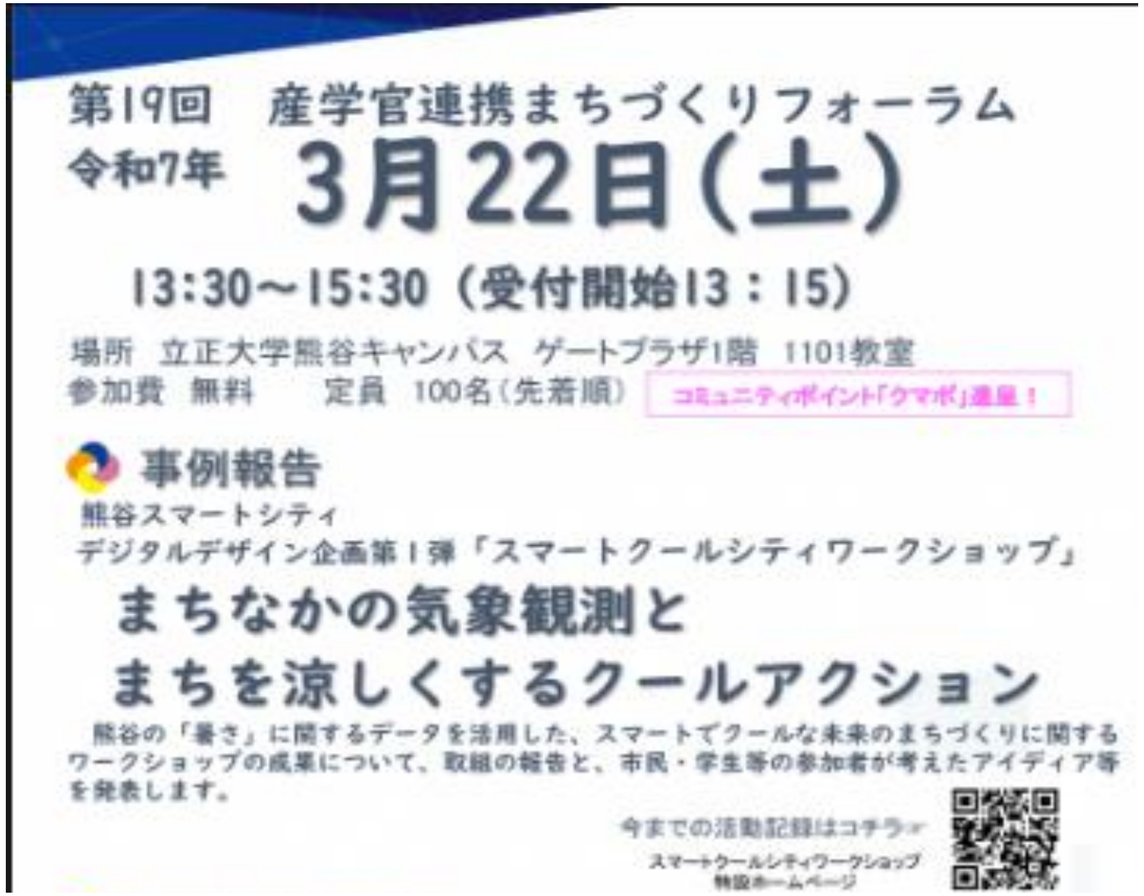
「熊谷も『暑い』というデメリットなのかもしれませんけども、それをメリットに変えていくという皆さんのいろんな考え方、そういうところについていろいろおもしろいなと思いました。」

立正大学
熊谷キャンパス
ゲートプラザ1階
1101教室

# 最終報告会

2025年3月22日
13:30～15:30

## 第19回　産学官連携まちづくりフォーラム



# メッセージ

## 一緒に熊谷市のスマートクールシティを育てる喜びを体験しましょう

このワークショップを通じて、スマートクールシティアイデアを実現する楽しさと、その過程で得られる学びを感じていただけたら幸いです。
熊谷市に住む方・関わる方一人ひとりが主役になれるスマートシティを目指しましょう。

